

## 酒造りの革新に挑戦し続ける明治五年創業の酒蔵 地域に・インターネットに・世界に、ファンを開拓

明治時代に創業し国の登録有形文化財に指定されている酒蔵。代表銘柄の「門外不出」は、地産地消をコンセプトとして9割以上が栃木県内で消費される。他にも日光連山の伏流水と地元酒米で手作りで仕込んだ「若盛」や栃木県小山市産の赤米と緑米のみで醸した古代米純米酒「愛米魅」等、地域の特色を生かした新商品を開発してきた。古きよき日本文化を伝承しつつ、「透明タンク醸造」の特許取得、海底熟成酒の商品化、クラウドファンディングの継続的实施等、常に新たな取組に挑戦し続けている。

所在地	栃木県小山市大字粟宮1452	設立	1872年
電話/FAX	0285-45-0035 / 0285-45-1628	資本金	1,000万円
URL	<a href="https://nishiborisyuzo.com/">https://nishiborisyuzo.com/</a>	従業員数	14人
代表者	代表取締役 西堀 和男		



### 透明なタンクを使った「クリアタンク醸造」の特許取得により、革新的な醸造に挑戦

アクリル製の透明な発酵タンクによる日本酒醸造について試行錯誤を重ね、2019年に「透過性素材を用いた醸造装置」として特許を取得。本装置では、醪（もろみ）の発酵状態を多方向から観察しながら、温度の管理と權入れの調整をすることで、自然な発酵を促すことが可能である。本装置で醸造した商品は、世界で最も影響力のあるワイン・日本酒審査会の一つとされるIWC（インターナショナル・ワイン・チャレンジ）にて2018年の大会推奨賞を受賞し、「CLEAR BREW（クリア・ブリュー）」ブランドとして販売している。



代表銘柄「門外不出」とクリアタンク

### イベント開催やクラウドファンディングの取組により、新たなファンを獲得

試飲付き酒蔵見学や醸造体験の他、蔵開きを祝う「若盛祭」や少人数で楽しむ「蔵ガーデン」等、酒蔵での各種イベントは、遠くても足を運びたいと県外からも多数の訪問者を集める。一方、インターネット上での販売に加えて取り組むクラウドファンディングは、商品開発・販路開拓・プロモーションの-new手段として新たなファンを開拓している。企画からホームページ作成までのすべてを同社で運営。案件は過去5件すべて成功し、青色LED光を照射して日本酒を試験醸造するという直近案件も、目標額を上回る応募を獲得した。



冬季限定で醸造体験を実施

### 海外の展示会・商談会への積極的参加により、海外市場への直接輸出の道を開拓

国内商社を介した引合いに間接的に対応するだけの受け身であった海外輸出について、2018年に長期的戦略の見直しを行い、姿勢を攻めに転じて直接輸出への注力を開始。台湾での現地商談会にて約2千本の商談に成功したのを皮切りに、さまざまな海外展示会に出展して、今では香港、オーストラリア、シンガポール、イタリア、アメリカ等へ輸出するまでになっている。あわせて、2019年に台湾にて3銘柄の商標登録を行い、輸出制限がある中国に対しても、長期的な輸出市場を見据えて、商標登録を申請し、取得完了している。



海外展示会等での受賞も多数